

# 三井住友銀行のオンラインセミナー

## かしこく資産運用を続けるために ～ゴールベースという考え方～

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込



株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号  
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■ 資料の作成、設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号  
加入協会： 一般社団法人投資信託協会、  
一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【セミナーに関する留意点】○本セミナーでは、金融商品の商品性等についてご紹介を行います。○また、セミナー終了後に、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。○本セミナーでご紹介する商品は三井住友銀行の取扱商品の一部です。

【リスク性商品等に関する留意点】○元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。○リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。○リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。

○商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書または販売用資料等でご確認ください。

# はじめに

## 今回のセミナーのポイント

- ① 資産運用の重要性の高まり
- ② ゴールベースの考え方のメリット
- ③ 具体的な商品の活用

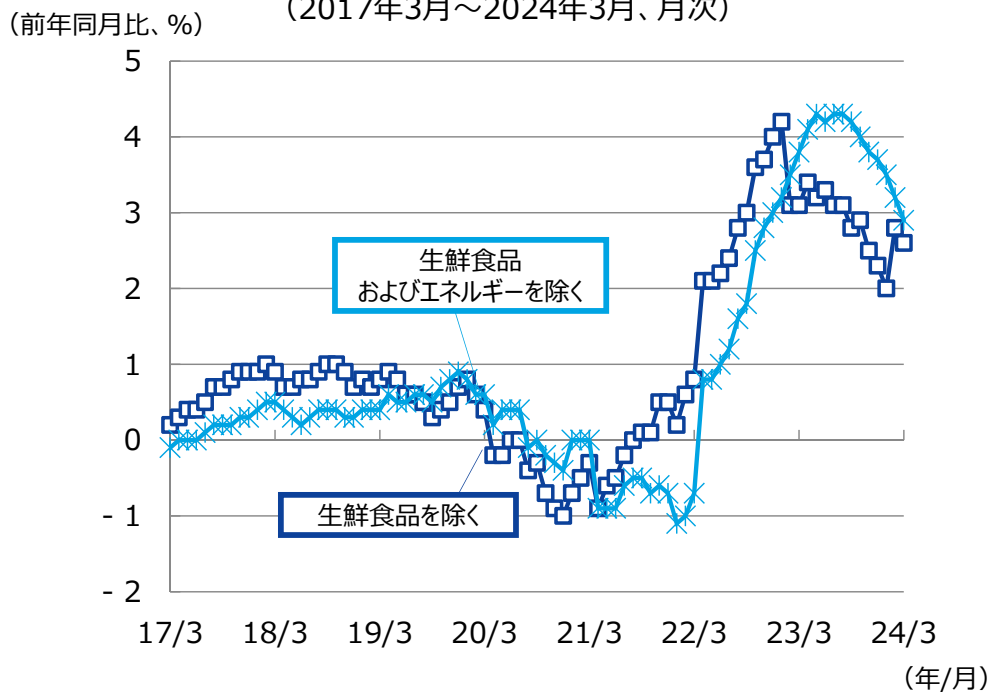
# ① 資産運用の重要性の高まり～物価動向と日本の経済成長～

- 日本経済はデフレからの脱却に向かっており、**今後の物価上昇に対応**するためにも、資産運用の重要性が高まっています。
- **中長期的な日本企業の価値向上に向けた取組み**による**日本株の上昇期待**や、「貯蓄から投資へ」といった政府の後押しにより、資産運用のニーズが高まっています。

## デフレの脱却と適度なインフレの定着へ

### <消費者物価指数の推移>

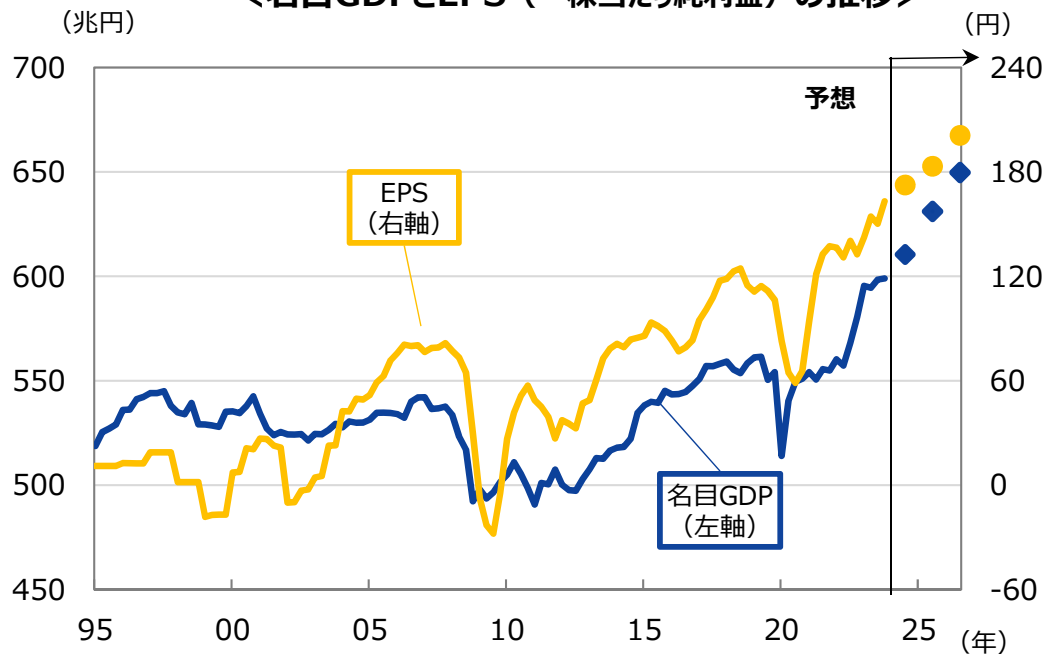
(2017年3月～2024年3月、月次)



(出所) 総務省のデータを基に委託会社作成

## 日本の経済成長と企業業績の拡大期待

### <名目GDPとEPS（一株当たり純利益）の推移>



(注1) 名目GDPの四半期実績（年率換算）は1995年4-6月～2024年1-3月。名目GDPのIMF年次予想は2024年～2026年。

(注2) EPS四半期実績はTOPIXの1995年6月～2024年3月時点の過去12ヵ月実績。EPS予想はTOPIXの2024年～2026年、2024年4月末現在のBloomberg予想。

(出所) Bloomberg、IMF、内閣府のデータを基に委託会社作成

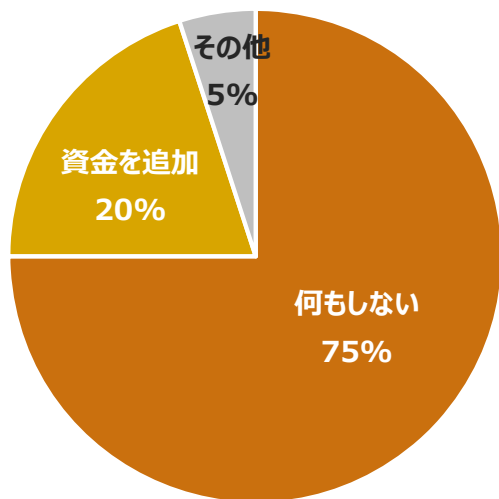
# ① 資産運用の重要性の高まり～資産運用を始める人が増えています～

- 資産運用を始めて、短期間で相場変動が起きた際、どのような行動をすればよいのでしょうか。
- 「人」は感情などに投資行動が左右され、行動経済学の観点から考えると、**合理的な判断ができず、収益を得るチャンスを失ってしまう**ことがあります。

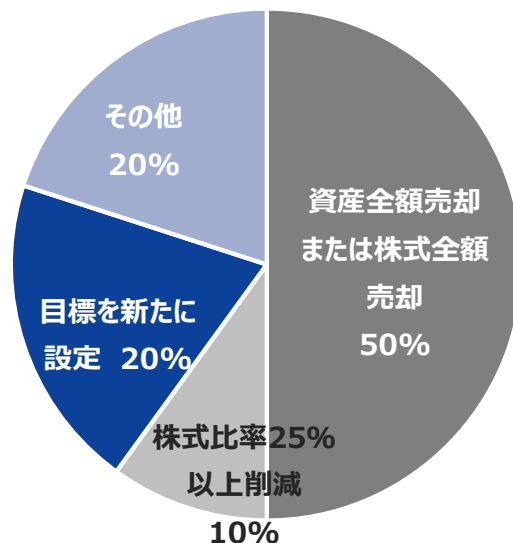
投資の判断では、感情に左右され合理的な判断が難しい

## ＜金融危機時（2008年）の投資行動の違い＞

目標設定をした顧客

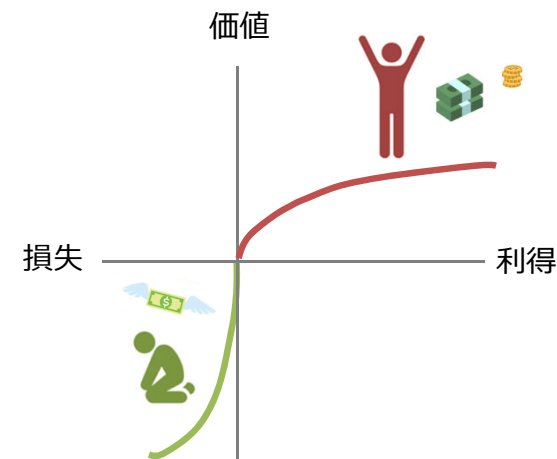


目標設定をしていない顧客



## （ご参考）プロスペクト理論

投資家は収益よりも損失の方に敏感に反応する。



※上記はイメージです。

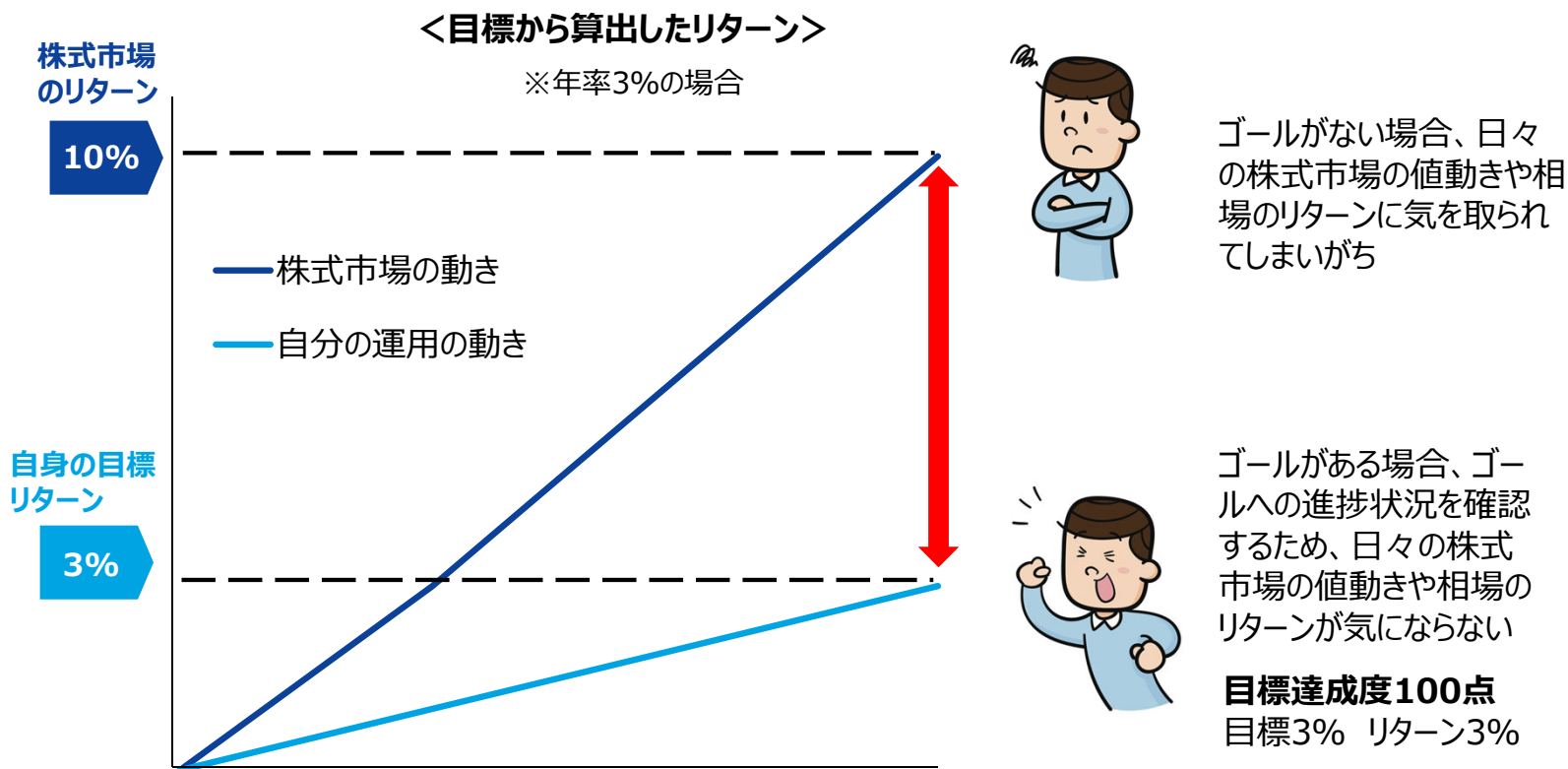
## ゴールベース（目標設定）の考え方を活用してみよう

（出所）SEI Investments 社資料 Melissa Doran Rayer [2008] を基にした野村証券作成資料を基に委託会社作成

# ① 資産運用の重要性の高まり～大切なのは自身の目標に対する進捗度～

## ポイント

目標は、自身の設定したゴールを達成することです。ゴールがあることで日々の株式市場の値動きに気を取られず、運用に集中できます。



※上記はイメージです。

# ① 資産運用の重要性の高まり～ゴールベースってなに？～

- ゴールベースの「ゴール」とは、ご自身やご家族のライフプラン、夢や希望など**人生の目標**を表します。
- ゴールベースの考え方とは、将来達成したい人生の目標（ゴール）を設定し、達成時期などを明確にしたうえで、“**今から何をすべきか**”を逆算して考える方法です。
- アメリカでは1990年代から普及しており、近年日本でも注目されています。

人生での様々なライフイベント・・・

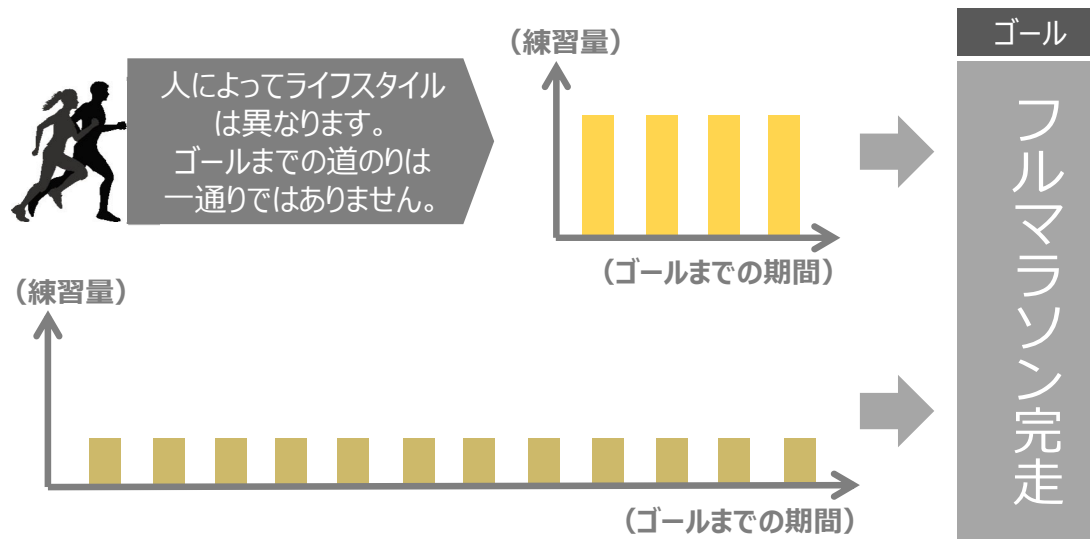
悩みや心配事・・・

長年やりたかったこと、叶えたい夢・・・



※上記はイメージです。

＜目標（ゴール）達成までの例＞



## ②ゴールベースの考え方のメリット～ゴール達成のために必要なリターンが明確に～

### ポイント

ゴール達成に向けて必要なリターンが明確になります。リスク許容度と合わせて、お客さま一人ひとりに合った、より最適な資産運用・資産配分の設定が可能になります。

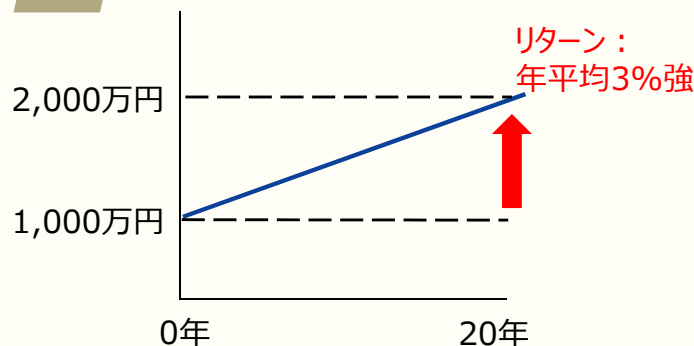
(例)

### 1 目標を設定する



老後のセカンドライフを  
充実させるために  
1,000万円を20年後に  
2,000万円にしたいな

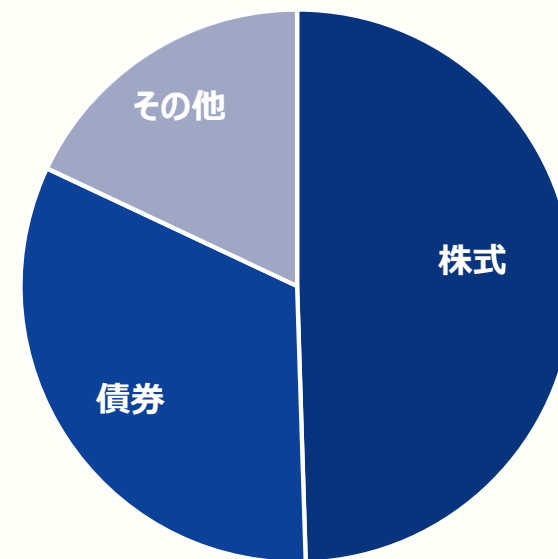
### 2 必要なリターンを確認



### 3 リスク許容度の確認

一般的に、リターンが高ければリスクも高くなる傾向があります。目標までのリターンが高くなる場合、金額や期間を見直すことが大切です。

### 4 ポートフォリオの策定



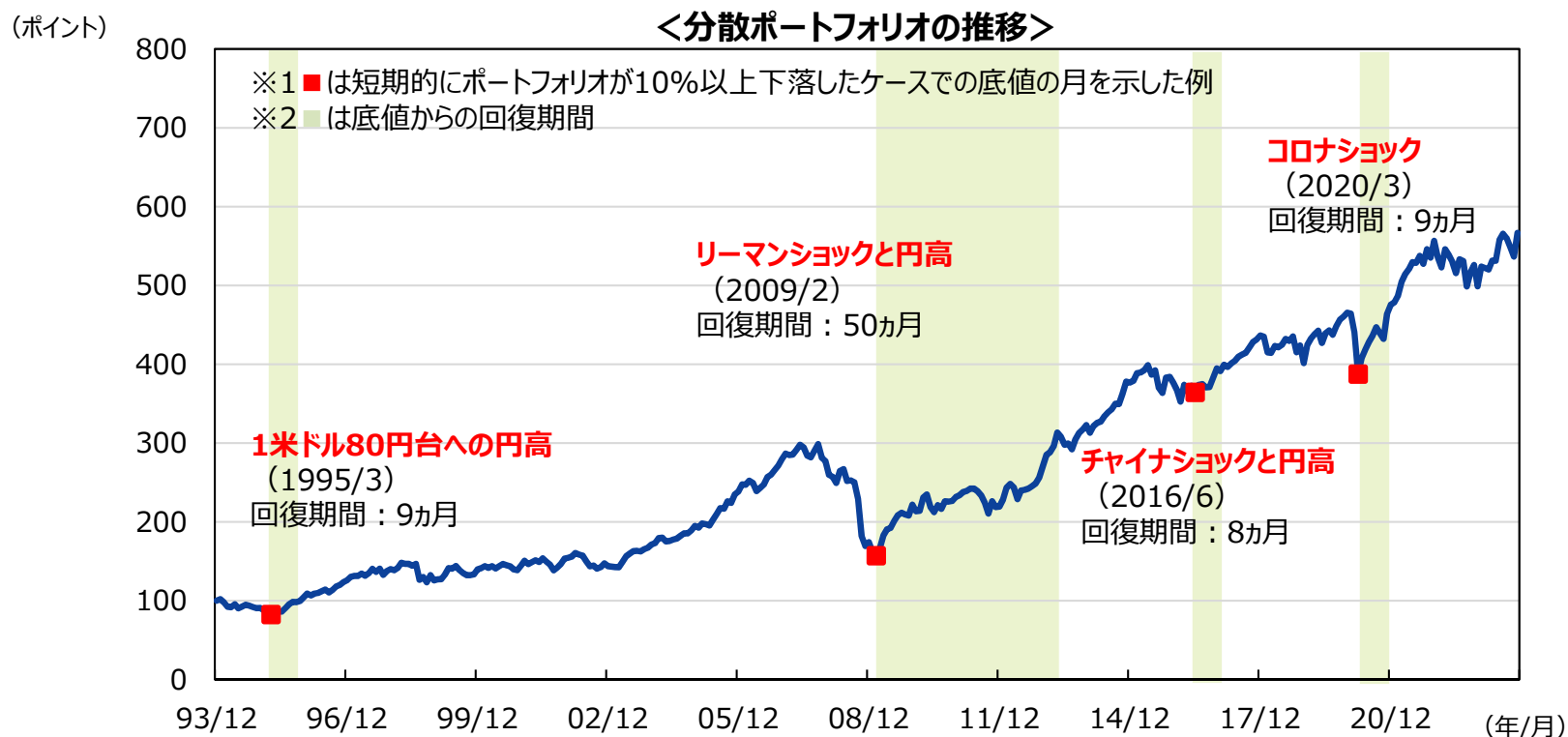
目標とするリターンを決めた後、リスクが最も小さくなるよう、株式や債券などへの配分比率を決めていきましょう。

※上記はイメージです。

## ②ゴールベースの考え方のメリット～相場に左右されない長期投資の実現～

- 日本では人生100年時代が迫っており、**長寿化による長期資産運用の必要性**が高まっています。また、NISA等の資産形成のための制度の普及によって、長期投資の有効性が再認識されています。
- ゴールを設定することで、**短期売買等を回避**し、長期的な相場の上昇をしっかりと享受していくことが期待されます。

長期投資によって上昇局面をしっかりとらえることが期待されます



(注1) データは1993年12月末～2023年11月末（月次）。1993年12月末を100として指数化。

(注2) 分散ポートフォリオは、日本株、先進国外株、新興国外株、日本国債、先進国国債、新興国国債、リート、グローバルリートに同一割合で投資したと仮定し、各月末でリバランス。日本株はTOPIX（配当込み）、先進国外株はMSCIコクサイ、新興国外株はMSCIエマージング、日本国債はICE BofA Japan Government Index、先進国国債はFTSE WGBI（日本除く）、新興国国債はJ.P Morgan EMBI Global Index、リートはS&P Japan REIT Index、グローバルリートはS&P Global REIT Index。外貨建ての指数は円換算後。（出所）Bloombergのデータを基に委託会社作成

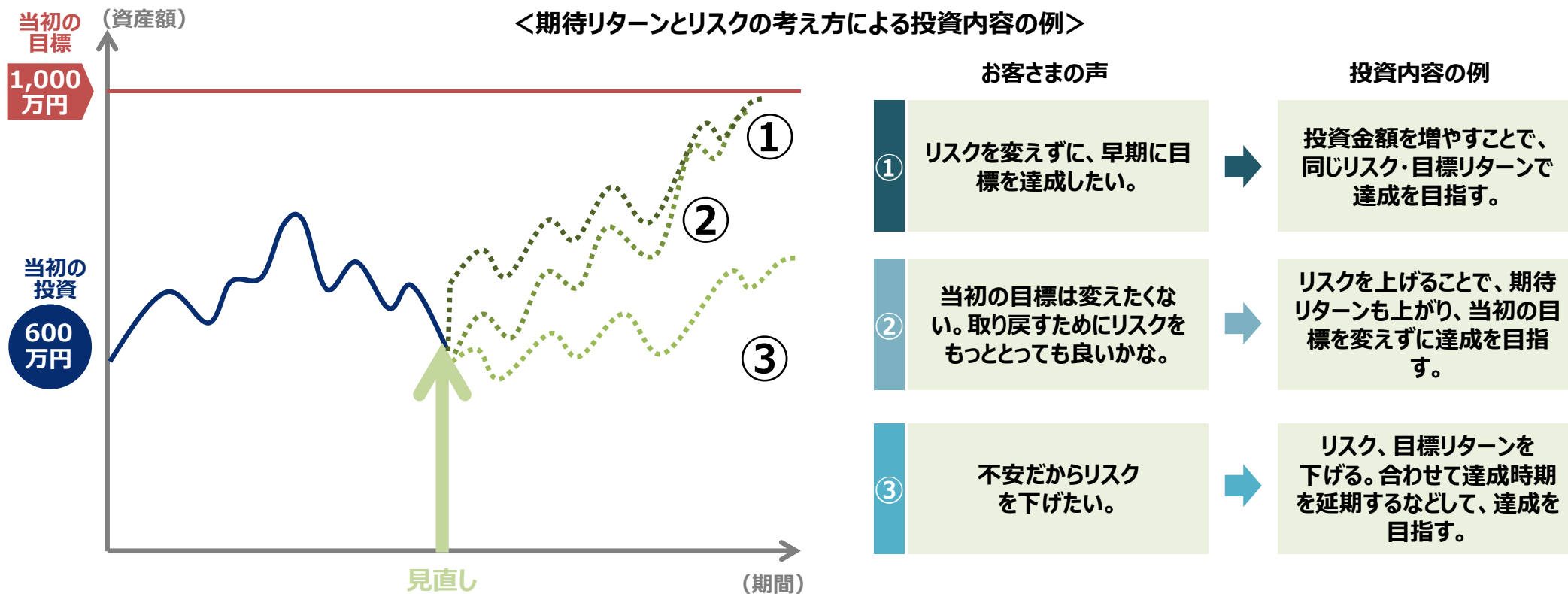
本動画の最後に「当資料のご利用にあたっての留意事項」を記載しております。必ずご確認ください。



## ②ゴールベースの考え方のメリット～ポイント～

### ポイント

- 設定した目標に対する進捗度を、定期的に確認することが重要
- 期待リターンに対してリスクが高い場合には、**リスクの取り方の修正もしくは期待リターンの修正**などが必要になります。



# ②ゴールベースの考え方のメリット～ゴールベースによる資産運用～

1

## ゴール（目標）設定

お客さまの人生の中で、叶えたい事や、達成したい目標を明らかにしましょう。

それをゴールとして運用を考えることが大切です。  
「子どもの教育資金として10年後までに1,000万円を準備」など具体的な目標を設定しましょう。

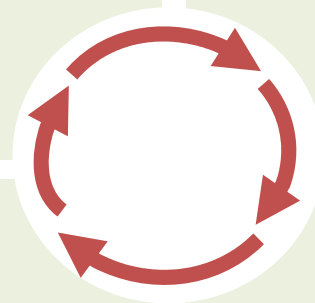


## 運用計画 （商品の選定）

2

ゴールが決まれば、現在の保有資産、今後の収入を整理しましょう。

目標達成の期間から適切な利回りを考え、何に投資を行うべきなのか選定します。



4

## 運用計画の見直し

定期的な運用計画の見直しは中長期での運用を行う上で非常に重要です。

ゴールに対する進捗状況も確認しつつ、必要に応じて目標金額・期間の変更を行きましょう。



## 運用状況の確認

3

定期的な運用状況の確認も欠かせません。

運用が計画通りに進んでいるか定期的に状況を確認しましょう。

※上記はイメージです。

### ③ 具体的な商品の活用～積立投資編～

三井住友銀行では、これまで資産運用を行ったことがないお客さまでも投資いただきやすい商品を「つみたて投資枠対象商品」としてご提供しています

#### SMBC・DC インデックスファンド (S&P500)

- 米国を代表する約500の企業が採用されている株価指数である「**S&P500**」に連動する運用成果を目指すインデックスファンド
- 米国経済の成長に見合うリターンを獲得することが期待されます。

#### SMBC・DC インデックスファンド (MSCIコクサイ)

- 世界の株式市場（除く日本）の動きを示す代表的な指数である「**MSCIコクサイ**」に連動する運用成果を目指すインデックスファンド
- マーケット全体に広く投資することで世界経済の成長に見合うリターンを獲得することが期待されます。

#### SMBC・DC インデックスファンド (日経225)

- 日本を代表する225の企業が採用されている株価指数である「**日経平均株価**」に連動する運用成果を目指すインデックスファンド
- 日本経済の成長に見合うリターンを獲得することが期待されます。

## ③ 具体的な商品の活用～一括投資編～



### ライフ・ジャーニー

(かしく育てるコース) (かしく使うコース) (充実して楽しむコース)

愛称：最高の人生の描き方

#### 当ファンドの3つのポイント

- ポイント1：中長期的な目標リターン\*として  
**短期金利相当分+年3%程度を目指す分散投資**
- ポイント2：ライフステージに合わせて選べる**3つのコース**
- ポイント3：資産寿命を延ばす**“定率分配”のしくみ**

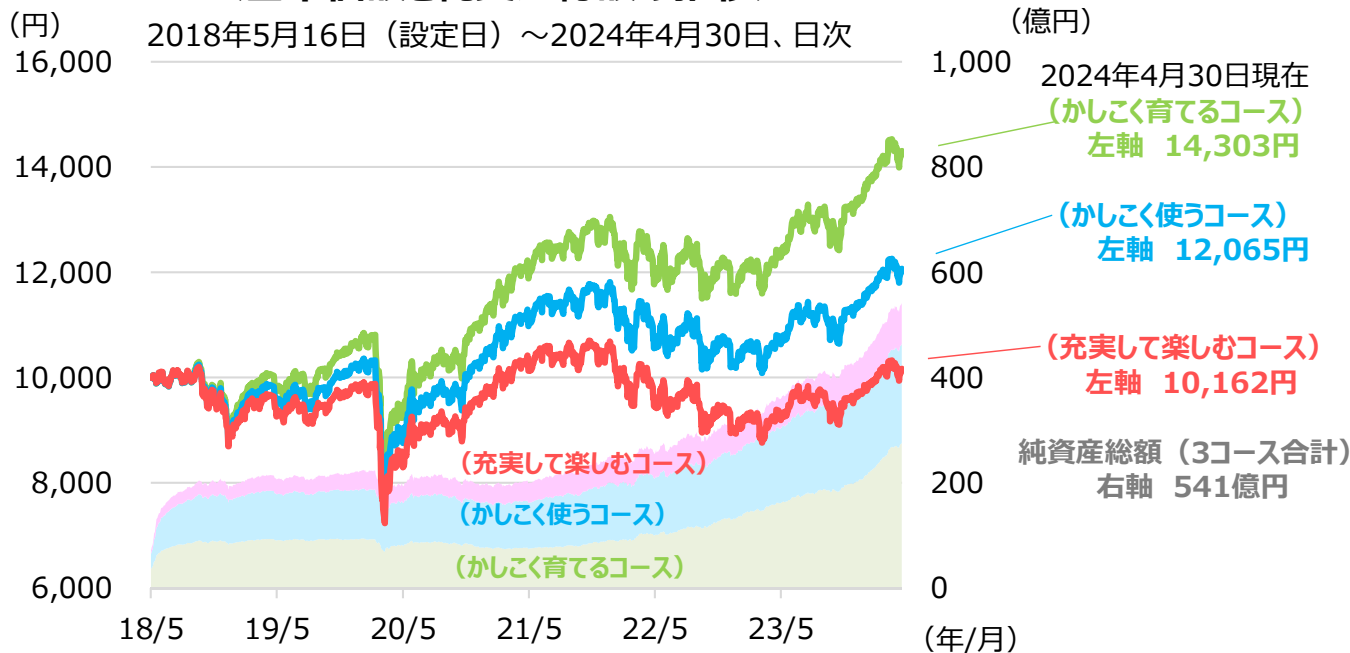
\* 目標リターン（短期金利相当分+年3%程度）は一定の収益を得ることができる運用を意味するものではなく、またその達成を示唆あるいは保証するものではありません。  
「短期金利相当分+年3%程度」は、各コースの信託報酬および各コースが投資対象とする外国投資信託の運用報酬等控除後のものです。

# ③ 具体的な商品の活用～一括投資編～

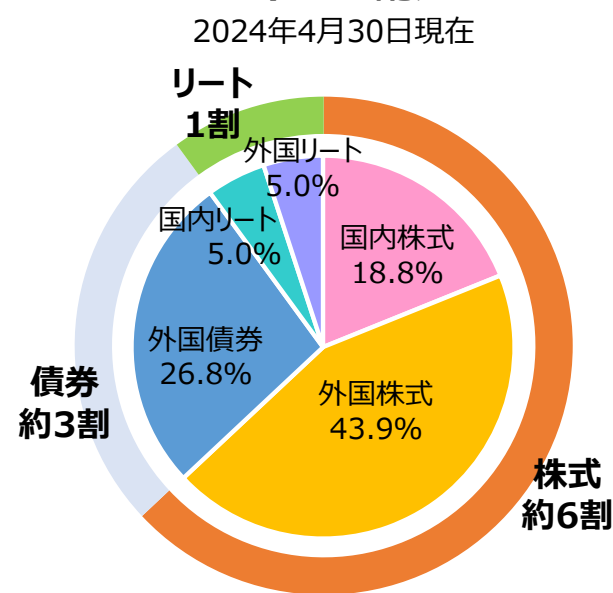
## ポイント 1：中長期的な目標リターンとして短期金利相当分＋年3%程度を目指す分散投資

➤ 「ライフ・ジャーニー（かしこく育てるコース）（かしこく使うコース）（充実して楽しむコース）」は中長期的なリスク水準目標（年8%～12%）に対して、**中長期的な目標リターンとして短期金利相当分＋年3%程度**を目指して運用を行います。

### ＜基準価額と純資産総額の推移＞



### ＜基本資産配分＞



※ (注1) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。(かしこく使うコース) (充実して楽しむコース) の基準価額の推移は、それぞれ期間中累計で1,760円、3,253円の分配後の数値です。(かしこく育てるコース) は2024年4月30日現在において分配を行っておりません。

※ (注2) 2024年4月30日現在の基本資産配分は純資産総額を100%として算出した目標値であり、今後変更される場合があります。数値は四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合があります。(出所) ブラックロックのデータを基に委託会社作成

※ 上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

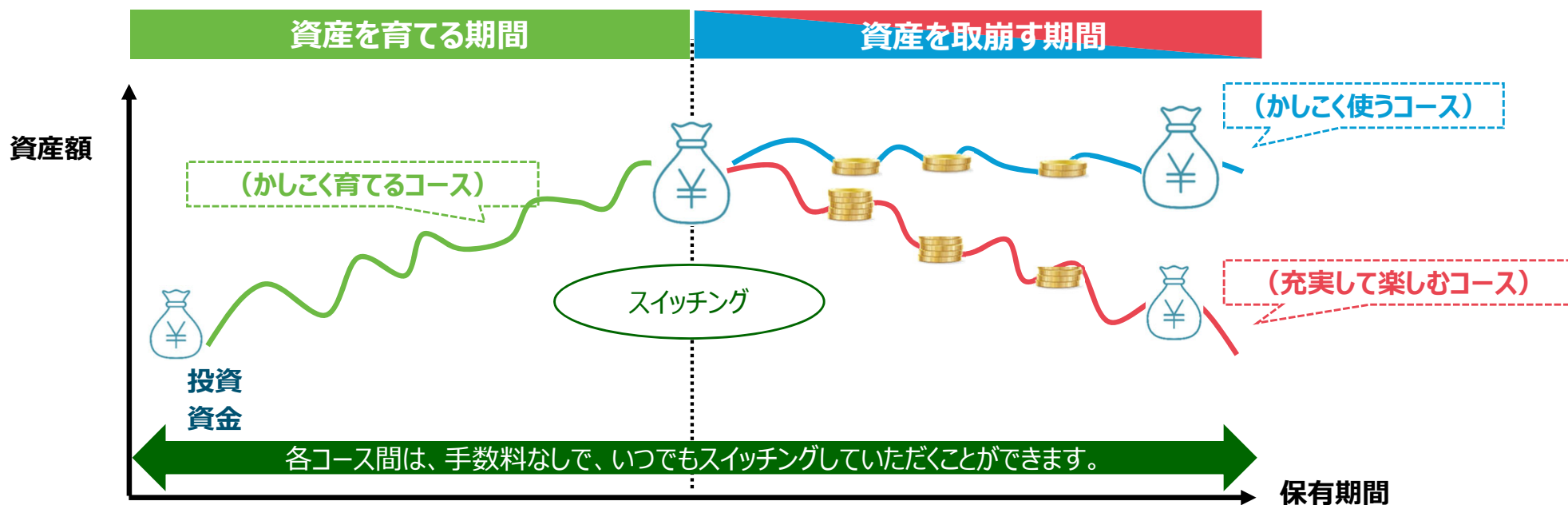
※ ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### ③ 具体的な商品の活用～一括投資編～

#### ポイント2：ライフステージに合わせて選べる3つのコース①

- お客さまのライフステージに合わせて、分配方針の異なる3つのコースからお選びいただけます。分配を極力抑制する（かしこく育てるコース）は**老後のセカンドライフなど、次のステージへ準備したい方向けのコース**です。
- （かしこく使うコース）、（充実して楽しむコース）では**分配金の目標分配率\*1が異なり、お客さまのニーズに合わせて選択**できます。分配金は公的年金が支払われない奇数月に受け取ることができるので、年金の補完としてもご利用いただけます。\*2

#### <投資資金の推移と分配などのイメージ例>



\*1 目標分配率とは、基準価額に対する分配率の目安を示すものであり、実際の支払額を保証するものではありません。また、各コースの利回りを示唆あるいは保証するものではありません。  
 \*2 （かしこく育てるコース）は分配を極力抑制します。（かしこく育てるコース）は2024年4月末現在において分配を行っておりません。（かしこく使うコース）は目標分配率を年3%（各決算時0.5%）相当、（充実して楽しむコース）は目標分配率を年6%（各決算時1%）相当とし、目標分配率に応じた分配を行います。（かしこく使うコース）および（充実して楽しむコース）の分配金は、投資収益にかかわらず目標分配率に応じて払い出すため、分配金の一部または全部が元本取崩しによって充当される場合があります。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

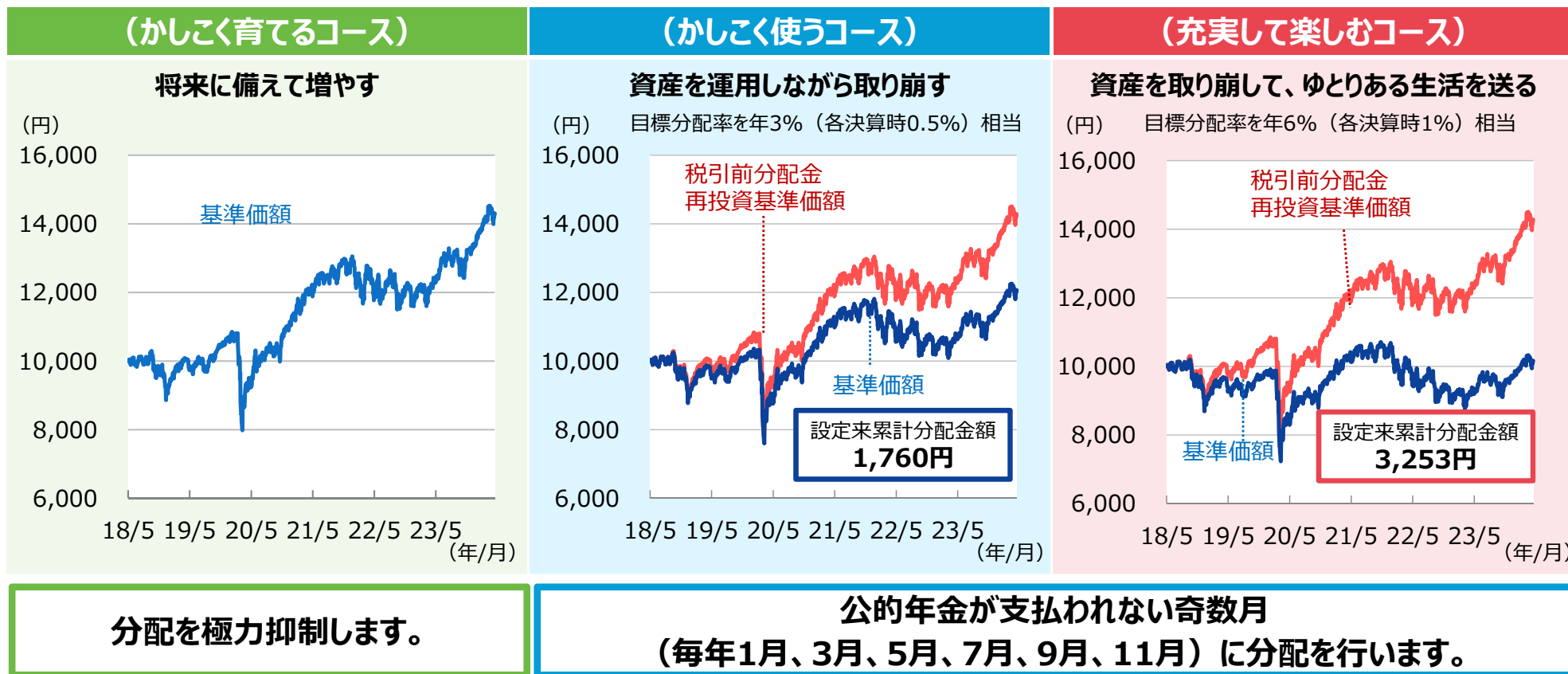
※ 上記はイメージであり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# ③ 具体的な商品の活用～一括投資編～

## ポイント2：ライフステージに合わせて選べる3つのコース②

### ＜基準価額の推移と分配の頻度＞

2018年5月16日（設定日）～2024年4月30日、日次



(注1) 基準価額、税引前分配金再投資基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。

(注3) 分配金は1万口当たりの金額です。（かしく育てるコース）は2024年4月末現在において分配を行っていません。

※ 上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

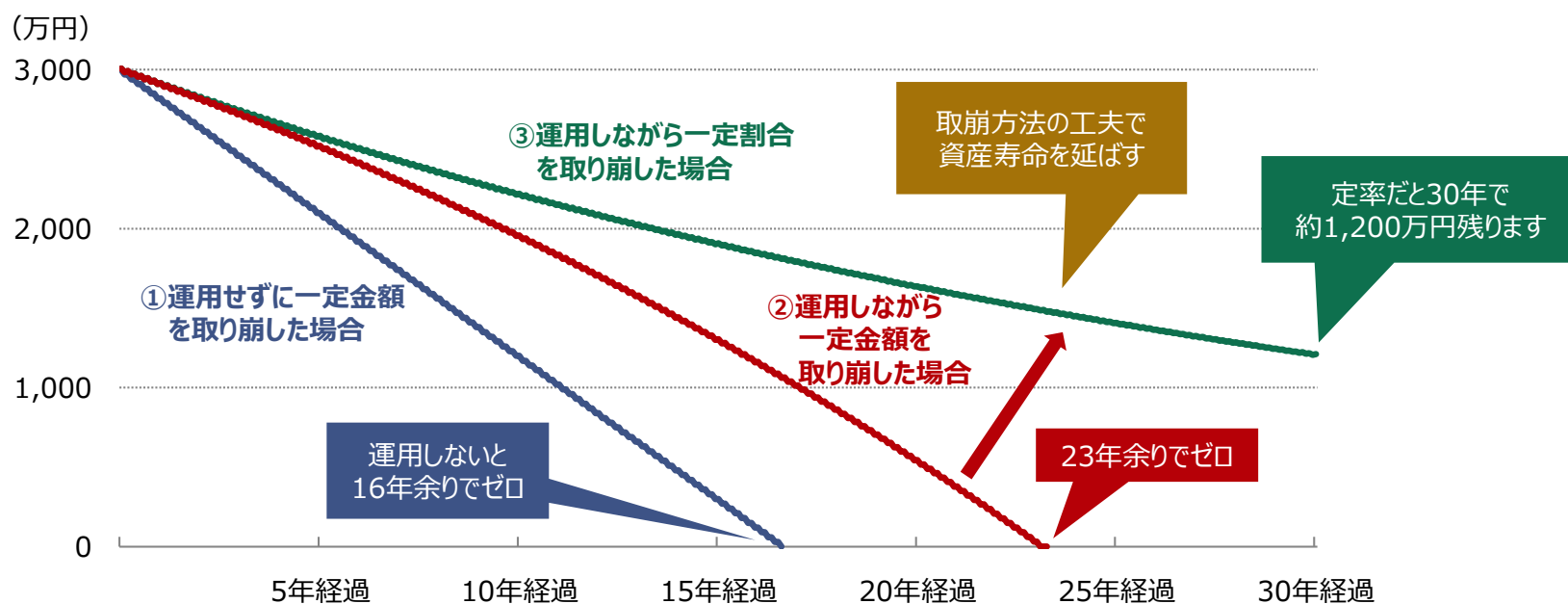
※ ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ③ 具体的な商品の活用～一括投資編～

### ポイント3：資産寿命を延ばす“定率分配”のしくみ

- 保有資産を運用せずに取り崩して使うと、いずれ資産はゼロになりますが、**運用しながら使うことで資産の寿命を延ばすことが期待されます。**
- 収益率が低下したり経過年数に従って資産残高が減少する場合の取崩手段としては、あらかじめ決められた金額を取り崩すよりも、**その時の資産残高の一定割合を取り崩す**定率分配の方が取崩額も少なくなることから、資産の寿命を延ばす効果が期待されます。

＜取崩方法別の資産残高のシミュレーション＞



※ 上記は一定の前提条件に基づきシミュレーションを行ったものであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の成果を示唆あるいは保証するものでもありません。



# まとめ

## 今回のセミナーのポイント

- ① 資産運用の重要性の高まり
- ② ゴールベースの考え方におけるメリット
- ③ 具体的な商品の活用方法

ご自身のゴール（目標）に向けた運用計画のご相談や運用状況の確認・見直しは、ぜひ三井住友銀行へご相談ください！

# ライフ・ジャーニー(かしこく育てるコース)(かしこく使うコース)(充実して楽しむコース)

## 愛称：最高の人生の描き方

ファンドのリスク（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

### 基準価額の変動要因

■当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。■投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。■当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

○価格変動リスク（株式市場リスク、債券市場リスク、不動産投資信託（リート）に関するリスク）、○信用リスク、○為替変動リスク、○カントリーリスク、○流動性リスク等。

※（かしこく使うコース）および（充実して楽しむコース）は、奇数月に分配金をお支払いすることを目指す、いわゆる隔月分配型ファンドです。分配金に関しては、投資信託説明書（交付目論見書）の分配金に関する留意事項をご覧ください。

お申込みメモ（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

信託期間	無期限（2018年5月16日設定）
決算および分配	<b>（かしこく育てるコース）</b> 毎年3月、9月の15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配金額を決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 <b>（かしこく使うコース）（充実して楽しむコース）</b> 毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、以下の目標分配率に基づき分配を行います。 <b>（かしこく使うコース）</b> 年3%（各決算時0.5%）相当 <b>（充実して楽しむコース）</b> 年6%（各決算時1%）相当 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
購入受付日	原則としていつでも購入できます。
購入価額	購入受付日の翌営業日の基準価額
購入単位	1万円以上1円単位 投信自動積立の場合：1万円以上1千円単位 スイッチングの場合：1円以上1円単位 ※購入時手数料および購入時手数料にかかる消費税等相当額を含めて上記の単位となります。 ※（かしこく使うコース）と（充実して楽しむコース）は投信自動積立の対象外です。
換金受付日	原則としていつでも換金できます。換金代金の支払いは、原則として換金受付日から起算して7営業日目からとなります。
換金価額	換金受付日の翌営業日の基準価額
繰上償還	●各ファンドの基準価額（1万口当たり。支払済み分配金を加算しません。）が2,000円を下回った場合、短期金融商品等による安定運用に順次切換えを行い、基準価額が2,000円を下回った日の翌営業日から起算して3か月以内に繰上償還します。 ●各ファンドの投資対象とする外国投資信託が信託を終了した場合または外国投資信託の分配方針の変更により各ファンドの商品の同一性が失われる場合には、繰上償還します。 また、以下の場合には、繰上償還をすることがあります。 ●繰上償還をすることが受益者のため有利であると認めるとき ●各ファンドの残存口数が20億口を下回ることとなったとき ●その他やむを得ない事情が発生したとき
課税関係	●課税上は株式投資信託として取り扱われます。 ●公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 ●当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。●配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。

本動画の最後に「当資料のご利用にあたっての留意事項」を記載しております。必ずご確認ください。

# ライフ・ジャーニー(かしこく育てるコース)(かしこく使うコース)(充実して楽しむコース)

## 愛称：最高の人生の描き方

### ファンドの費用等（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

■投資信託は、購入・換金時等に直接ご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。

#### ①購入・換金時等に直接ご負担いただく費用

購入時	購入時手数料	<u>2.2%（税抜き2.0%）</u> ※購入時手数料には消費税等相当額がかかります。 ※購入時手数料（税込）は、購入金額（購入価額×購入口数）に手数料率（税込）を乗じて得た額となります。 ※別に定める場合はこの限りではありません。
	スイッチング手数料	ありません。
換金時	換金手数料	ありません。
	信託財産留保額	ありません。

#### ②保有期間中に信託財産から間接的にご負担いただく費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に <u>年1.133%（税抜き1.03%）</u> の率を乗じた額。 ※投資対象とする投資信託の運用報酬等を含めた場合、 <u>最大年1.971%（税抜き1.81%）</u> となります。 ※投資対象とする投資信託が組入れを行っているETFへの投資割合で計算した場合、 <u>年1.5213%（税抜き1.4012%）程度（2024年3月末現在）</u> となります。 ※投資対象とする投資信託の運用報酬等には、上記のほか、別途、受託報酬等がかかります。そのため、実質的な負担はこれらの報酬を加えたものとなります。また、報酬等には、年間最低報酬額等が定められているものもあるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。上記の料率は作成基準日現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。
--------------	--

以下のその他の費用・手数料等について信託財産からご負担いただきます。

●監査法人等に支払われるファンドの監査費用 ●有価証券の売買時に発生する売買委託手数料 ●資産を外国で保管する場合の費用 等

※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

#### ■委託会社、その他の関係法人

委託会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。） コールセンター：0120-88-2976 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く） ホームページ：https://www.smd-am.co.jp
受託会社	株式会社S M B C信託銀行（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）
販売会社	株式会社三井住友銀行（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）

# S M B C ・ D C インデックスファンド ( S & P 5 0 0 )

ファンドのリスク（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

## 基準価額の変動要因

■当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。■投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。■当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

○価格変動リスク（株式市場リスク）、○信用リスク、○為替変動リスク、○カントリーリスク、○流動性リスク等。

お申込みメモ（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

信託期間	無期限（2020年7月22日設定）
決算および分配	年1回（毎年11月20日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入単位	月々の積立金額は1万円以上1万円単位（上限10万円）となります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
申込不可日	以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。 ●ニューヨークの取引所の休業日 ●ニューヨークの銀行の休業日
繰上償還	以下の場合には、繰上償還をすることがあります。 ●繰上償還をすることが受益者のため有利であると認めるとき ●その他やむを得ない事情が発生したとき
課税関係	●課税上は株式投資信託として取り扱われます。 ●公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 ●当ファンドは、NISAの「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ●配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には変更される場合があります。

# S M B C ・ D C インデックスファンド ( S & P 5 0 0 )

## ファンドの費用等（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

### ①投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

### ②投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.0968% (税抜き0.088%) の率を乗じた額
その他の費用・ 手数料	以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 監査法人等に支払われるファンドの監査費用</li> <li>● 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料</li> <li>● 資産を外国で保管する場合の費用 等</li> </ul> ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### ■委託会社、その他の関係法人

委託会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。） コールセンター：0120-88-2976 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く） ホームページ： <a href="https://www.smd-am.co.jp">https://www.smd-am.co.jp</a>
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）
販売会社	株式会社三井住友銀行（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）

# S M B C ・ D C インデックスファンド (MSC Iコクサイ)

ファンドのリスク（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

## 基準価額の変動要因

■当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。■投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。■当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

○価格変動リスク（株式市場リスク）、○信用リスク、○為替変動リスク、○カントリーリスク、○流動性リスク等。

お申込みメモ（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

信託期間	無期限（設定日：2020年7月22日）
決算および分配	年1回（毎年11月30日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入単位	月々の積立金額は1万円以上1万円単位（上限10万円）となります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
申込不可日	以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。 ●ニューヨークの取引所の休業日 ●ニューヨークの銀行の休業日
繰上償還	以下の場合には、繰上償還をすることがあります。 ●繰上償還をすることが受益者のため有利であると認めるとき ●その他やむを得ない事情が発生したとき
課税関係	●課税上は株式投資信託として取り扱われます。 ●公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 ●当ファンドは、NISAの「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ●配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には変更される場合があります。

# S M B C・D C インデックスファンド (MSC Iコクサイ)

ファンドの費用等（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

## ①投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

## ②投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.1023% (税抜き0.093%) の率を乗じた額
その他の費用・ 手数料	以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 監査法人等に支払われるファンドの監査費用</li> <li>● 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料</li> <li>● 資産を外国で保管する場合の費用 等</li> </ul> ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## ■委託会社、その他の関係法人

委託会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。） コールセンター：0120-88-2976 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く） ホームページ： <a href="https://www.smd-am.co.jp">https://www.smd-am.co.jp</a>
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）
販売会社	株式会社三井住友銀行（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）

# S M B C ・ D C インデックスファンド

## (日経225)

ファンドのリスク（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

### 基準価額の変動要因

■当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。■投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。■当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

○価格変動リスク（株式市場リスク）、○信用リスク、○流動性リスク等。

お申込みメモ（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

信託期間	無期限（2020年7月22日設定）
決算および分配	年1回（毎年11月10日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
購入単位	月々の積立金額は1万円以上1万円単位（上限10万円）となります。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
繰上償還	以下の場合には、繰上償還をすることがあります。 ●繰上償還をすることが受益者のため有利であると認めるとき ●その他やむを得ない事情が発生したとき
課税関係	●課税上は株式投資信託として取り扱われます。 ●公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 ●当ファンドは、NISAの「つみたて投資枠（特定累積投資勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ●配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には変更される場合があります。



# S M B C ・ D C インデックスファンド

## (日経225)

ファンドの費用等（くわしくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

### ①投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

### ②投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.154% (税抜き0.14%) の率を乗じた額
その他の費用・ 手数料	以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 監査法人等に支払われるファンドの監査費用</li> <li>● 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料</li> <li>● 資産を外国で保管する場合の費用 等</li> </ul> ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### ■委託会社、その他の関係法人

委託会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。） コールセンター：0120-88-2976 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く） ホームページ： <a href="https://www.smd-am.co.jp">https://www.smd-am.co.jp</a>
受託会社	三井住友信託銀行株式会社（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）
販売会社	株式会社三井住友銀行（ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。）

## 投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行本支店等にご用意しています。
- 投資信託のご購入、換金にあたっては各種手数料等（購入時手数料、換金時手数料、信託財産留保額等）が必要です。また、これらの手数料等とは別に信託報酬と監査報酬、有価証券売買手数料等その他費用等を毎年、信託財産を通じてご負担いただきます。お客さまにご負担いただく手数料はこれらを足し合わせた金額となります
- 投資信託のご購入、換金にあたって円貨から外貨または外貨から円貨へ転換の際は、為替手数料が上記の各種手数料等とは別にかかります。購入時と換金時の適用為替相場には差があるため、為替相場に変動がない場合でも、換金時の円貨額が購入時の円貨額を下回る場合があります。
- これらの手数料等は各投資信託およびその通貨・購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各投資信託の手数料等の詳細は、目論見書・販売用資料等でご確認ください。
- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は国内外の株式や債券等へ投資しているため、投資対象の価格の変動、外国為替相場の変動等により投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクやその他のリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。
- 外国投資信託のお取引にあたっては、外国証券取引口座の開設が必要です。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問合せください。
- 三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・費用は運用会社が行います。

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

作成基準日：2024年4月30日